



株式会社 幸田組

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023 年5月1日 ~ 2024 年4月30日)



大川補助河川改修工事
令和 6 年 3 月完成



認証番号0007531

発行日: 2024年7月1日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業や施工例の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	13

□ごあいさつ

当社は、地球規模での環境保全が人類共通の最重要課題のひとつであることを認識することで、事業活動において、環境に配慮した循環型社会の構築と地域環境保全活動に貢献します。

(株)幸田組 環境経営方針

<環境経営理念>

当社は、滋賀県の湖北地方を中心とした土木工事の事業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 塗料や接着剤など適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した工事に努めます。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

この環境経営方針について全従業員への周知徹底を図ります。

制定日：2010年11月1日

改定日：2020年5月1日

代表取締役

松伏清和

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 幸田組
代表取締役 松伏 清和
- (2) 所在地
本 社 滋賀県長浜市西浅井町庄78
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 工事部 木下 史郎 TEL:0749-89-1213
- (4) 事業内容
特定建設業(特定 第70115号)
土木工事業

(5) 事業の規模

売上高 596 百万円 (税抜)

	本 社				合計
従業員	名	6 名			6 名
延べ床面積	m ²	275 m ²			275 m ²

- (6) 事業年度 2023 年度 5 月 1 日 ~ 4 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社 幸田組
対象事業所: 本 社

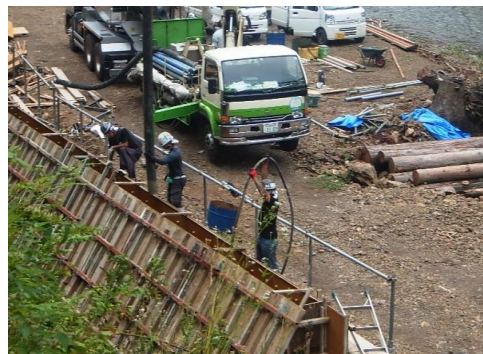
対象外: なし
活動: 全組織・全活動

□事業や施工例の紹介

大川補助河川改修工事
(遺跡保護工生コン打設施工状況)



県道尾羽梨工区他整備工事
(重力擁壁生コン打設状況)



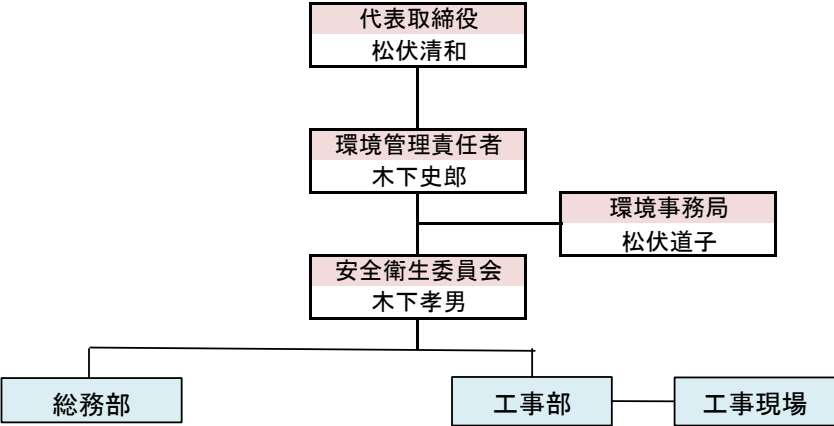
社会貢献

(美知メセナ 剪定状況)



(工事現場周辺の農道補修活動)





	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンス の明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知 ・実施体制の構築 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、安全衛生委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
安全衛生委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	70,160	67,887	70,978
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	0.066	0.066	0.058
産業廃棄物排出量	トン	636.0	888.5	305.0
水使用量	m ³	40.0	40.0	44.0
二酸化炭素排出係数	kg-CO ₂ /kWh	0.493 (2016年度)	0.493 (2016年度)	0.311 (2021年度)

※関西電力株式会社調整後の排出係数

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

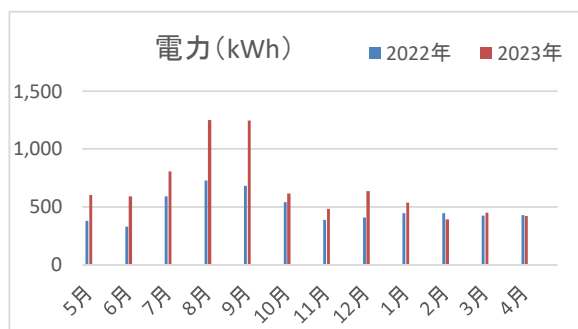
年 度		2022	2023年		評 価	2024年	2025年
項 目		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減 二酸化炭素排出係数 0.311kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	1,817	1,799	2,498	×	1,781	1,763
	基準年度比	2022年	99%	137%		98%	97%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	29.3	29.0	15.0	○	28.7	28.4
	基準年度比	2022年	99%	51%		98%	97%
工事用車両(重機)による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	62,676	62,049	66,087	×	61,423	60,796
	基準年度比	2022年	99%	105%		98%	97%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	2,301	2,278	2,378	×	2,255	2,232
	基準年度比	2022年	99%	103%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	66,823	66,155	70,978	×	63,232	62,587
	基準年度比	2022年	99%	106%		98%	97%
一般廃棄物の削減	t	0.066	0.065	0.058	○	0.065	0.064
	基準年度比	2022年	99%	88%		98%	97%
産業廃棄物の搬出	t	888.54		304.95			
建設副産物の再資源化率の向上	%	100%	100%	100%	○	100%	100%
水使用量の削減	m ³	40.0	39.6	44.0	×	39.2	38.8
	基準年度比	2022年	99%	110%		98%	97%
溶剤使用量削減(あるいは適正管理)	kg			使用実績無			
	基準年度比						
環境に配慮した工事の推進	%	—	100	100	○	100	100
	目標比	—	—	100%			
地域での環境活動の取組	回/年	—	12	12	○	12	12
	目標比	—	—	100%			

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	電気使用量は1年を通し、不要時の消灯やOA機器の節電の実施を行ってきたが、近年の異常気象による気温上昇によるエアコンの使用時間が長くなったことのほか、今年度は現場電力の発生が大きく影響し、基準年より37%増に至った。 (目標削減値未達成)
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・ノー残業デーの実施	○	

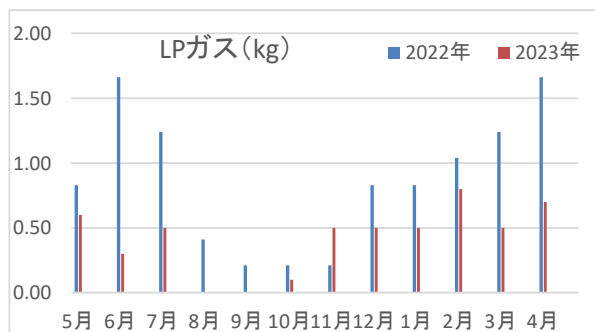


(取組紹介欄)
節電シールの貼り付け



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	382	330	592	727	684	543	388	408	448	448	424	430
2023年	604	590	806	1,250	1,248	616	482	638	536	393	450	420

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	LPG使用量は1年を通し、基準年より49%の削減に至った。 (目標削減値達成)
・風通しのよい所に保管する。(40℃を超えない)	○	
・発火物から2.5m以上離れていること。	○	

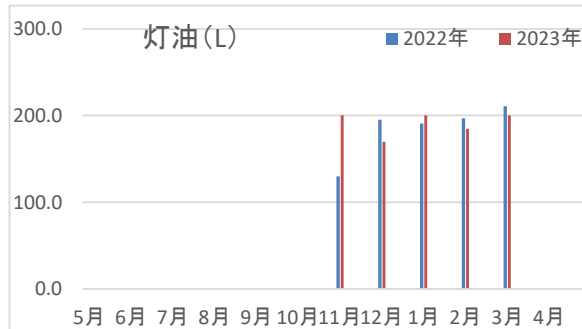


(取組紹介欄)
LPG設置状況



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	0.83	1.66	1.24	0.41	0.21	0.21	0.21	0.83	0.83	1.04	1.24	1.66
2023年	0.60	0.30	0.50	0.00	0.00	0.10	0.50	0.50	0.50	0.80	0.50	0.70

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	灯油使用量は、工事量の増加に伴う残業が増えた為、基準年より3%増に至った。
・灯油は室内で保管する。	○	(目標削減値未達成)
・灯油は当シーズンで使いきる。	○	
・暖房温度は20℃に設定する。	○	



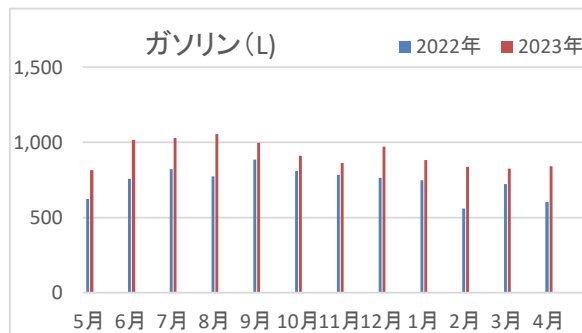
(取組紹介欄)

節油シールの貼付



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	130.0	195.0	191.0	197.0	211.0	0.0
2023年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	200.0	170.0	200.0	185.0	200.0	0.0

工事用車両(重機)による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	ガソリン使用量は1年を通じて、基準年の25%増に至った。
・アイドリングストップ	○	軽油使用量は1年を通して、基準年の4%削減に至った。
・最短経路での走行の徹底	○	合計CO2排出量は基準年より5%増に至った。
・乗合乗車の強化	○	(目標削減値未達成)
・低燃費・環境対策型BHの導入	○	

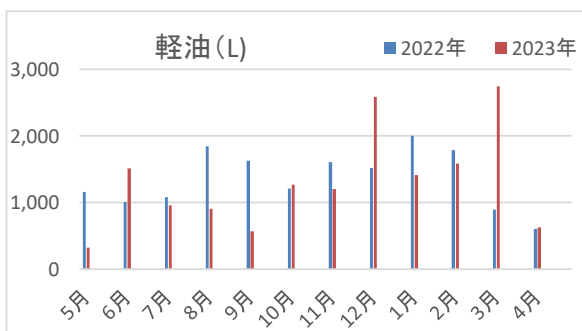


(取組紹介欄)

軽自動車の活用



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	623	757	821	772	886	810	783	763	747	560	723	603
2023年	816	1,018	1,030	1,053	998	910	864	971	881	838	824	840



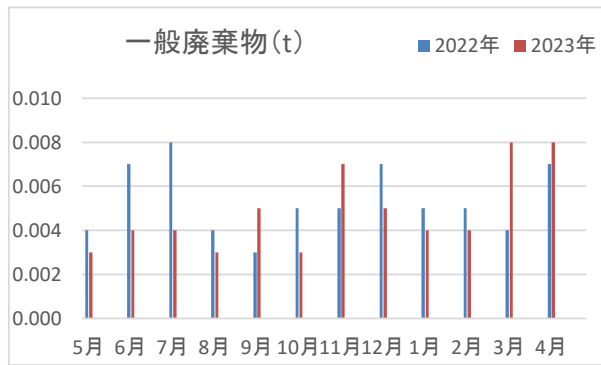
(取組紹介欄)

低燃費、大型BF0.8m³の導入



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	1,160	1,010	1,080	1,840	1,629	1,212	1,603	1,517	2,005	1,786	895	602
2023年	326	1,514	954	907	569	1,264	1,200	2,587	1,413	1,581	2,741	629

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	一般廃棄物は1年を通し、自治体の焼却場に搬出している。1年を通して、基準年より12%の削減に至った。 (目標削減値達成)
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・ペーパーレスによる印刷物の削減	○	

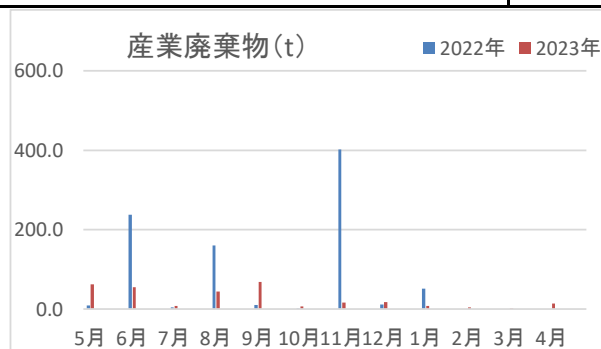


(取組紹介欄)
再利用用紙保管状況



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	0.004	0.007	0.008	0.004	0.003	0.005	0.005	0.007	0.005	0.005	0.004	0.007
2023年	0.003	0.004	0.004	0.003	0.005	0.003	0.007	0.005	0.004	0.004	0.008	0.008

産業廃棄物の搬出	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・リサイクル業者の選定	○	産業廃棄物は1年を通し、工事現場内の産業廃棄物は100%、中間処理(再生処理)施設に運搬・搬出した。
・過積載の厳禁	○	
・第三者災害の防止(法定速度厳守)	○	

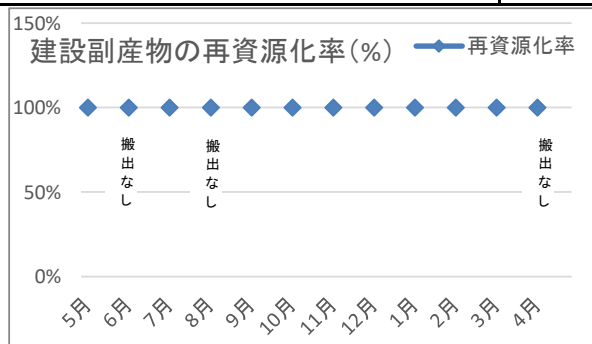


(取組紹介欄)
中間処理施設
搬入状況



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	9.5	237.4	4.5	160.4	9.8	0.3	401.9	12.0	51.0	0.0	0.0	0.0
2023年	62.4	55.4	7.5	44.7	68.3	6.8	16.1	17.3	7.2	4.6	0.2	14.4

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	建設副産物は100%、再資源化している。 (目標達成)
・分別の徹底	○	



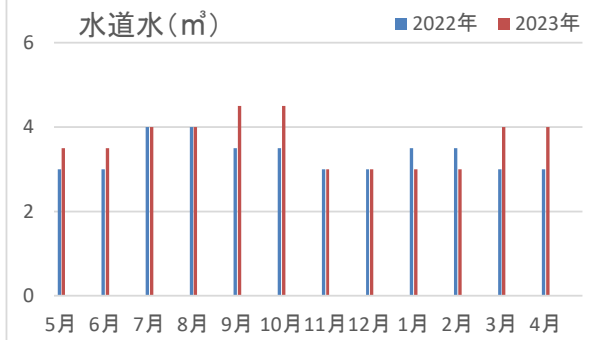
(取組紹介欄)
中間処理施設
マニフェスト綴り

計量状況



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
再資源化率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	工事現場の増加に伴い、現場手洗い水を本社事務所より持っていくため、基準年より10%の増となった。 (目標削減値未達成)
・節水シールの貼り付け	○	



(取組紹介欄)
節水シールの貼り付け



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	3	3	4	4	4	4	3	3	4	4	3	3
2023年	4	4	4	4	5	5	3	3	3	3	4	4

溶剤使用量削減(あるいは適正管理)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		使用せず
・有害性物質の表示の徹底		
・作業ミスによる使用量増加の抑制		
・発注量の適正化		

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	随時、低騒音型・環境対策型機械への切替を図っている。
・低騒音型・環境対策型機械の導入	○	
・建設副産物の100%再資源化	○	

地域での環境活動の取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	毎月実施した。
・「美知メセナ」活動に取り組む。	○	
・公共・民間団体の地域清掃活動等に積極的に	○	

取組紹介欄

新型機種(バックホウ0.8m³・0.48m³)の導入



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

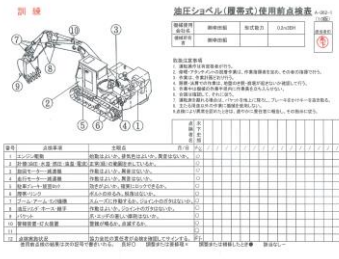
適用される法規制	該当する要求事項
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、搬出
建設リサイクル法	建設副産物の管理、搬出
騒音規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守
水質汚濁防止法	工事現場での適正管理
消防法(危険物)	対象危険物保管の届出
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出
フロン排出抑制法	対象機器の点検・記録・報告

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災等の発生		
■実施日： 2023年7月20日	■実施場所： 長浜市西浅井町庄(本社)	
■参加者： 松伏清和 幸田仁志 木下孝男 木下史郎 植田公和	■実施内容： ・火災対応（消火訓練、避難訓練）	
■評価： 本社倉庫から火災が発生したと想定して訓練を実施した。消火訓練は毎年、設定・場所を変えて実施しています。本社倉庫は本社と隣り合っているため、火の類焼することを想定して火災消火訓練を実施した。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし	
■実施状況の様子		
火災消火訓練	消火器設置	使用期限確認
		

緊急事態の想定： 重機・車両事故等の発生(使用前点検の実施)		
■実施日： 2024年4月30日	■実施場所： 長浜市西浅井町庄(本社)	
■参加者： 松伏清和 幸田仁志 木下孝男 木下史郎 植田公和	■実施内容： ・油類流出事故対応（使用前点検の実施）	
■評価： 重機の油圧シリンダ及びホースが破損し油圧オイルが噴出し河川より琵琶湖に流出したと想定し、オイル流出防止訓練(オイルフェンス設置)を実施した。またオイル流出はある程度、使用前点検により異常が認められることがあり使用前点検を確実に実施する。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし	
■実施状況の様子		
オイルフェンス連結	オイルフェンス設置	使用前点検表
		

実施日：2024年4月30日

【前回の指示への取組結果】

昨年度、計画していた大型重機の(バックホウ0.8m3)の導入を実施しました。よって現場条件を精査して適正現場に導入による施工を実施しています。

【評価結果及び指示内容】

取組結果の集計が事業年度(2023年度)は基準年度(2022年度)の売上高が約2.2倍であり、基準年度の各燃料等使用量の増加が想定され、それに伴うCO2排出量の増加が懸念される。項目ごとに精査しますと電力についてはLED電灯の完備に加え、日常的に不要時の消灯やOA機器の節電及びエアコンの温度管理と点検の徹底が定着化していましたが残暑の長期化等及び工事現場電力があり37%の増加となりました。LPGについては基準年度(2022年度)の使用量が極めて少なかったにも係わらず49%の削減となりました。灯油については暖房温度を20℃に設定し実施しておりましたが残業時間の増加とともに3%の増加となりました。軽油については4%の削減になりました。削減出来た理由は2022年度来から随時、実施してきた工事用重機の低燃費・環境対策型への新機入替・大型重機の導入によるところが大きいと思いますが、ガソリン使用が工事用車両の使用頻度の増加とともに25%の増加でした。よつてガソリン・軽油の合計CO2排出量は5%の増加となりましたので、次年度には低燃費工事車両の(ユニック車)の入替えを行う予定で、軽油の使用量のより一層の削減を計画しています。一般廃棄物については毎年少しずつですがコピー用紙の再利用及びペーパーレス化により廃棄を少なくしています。産業廃棄物については年間の工事内容によって搬出量は増減しますが産業廃棄物すべて(100%)中間処理(再生処理)施設に搬出しています。また、溶剤(化学物質)については基準年及び事業年とも使用していません。社会貢献については美知メセナによる分担区域の草刈り・剪定作業以外に公共事業体及び建設協会主催の地域清掃活動等にも積極的に参加しています。これらの取組をおこなっていますが、今年度は懸念していた結果となりましたが、次年度は全項目で目標が達成できるよう取り組んでほしい。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり